

◆ 事務局

「令和6年度建築士定期講習」の日程について

令和3(2021)年度に受講された方は今年度が受講年度です。今年度から申込方法が変わりました。①建築技術教育普及センターのホームページからインターネットで直接お申込み ②紙の申請書(建築技術教育普及センターのホームページからダウンロード)を富山県建築士会へ郵送 のいずれかの方法でお申し込みください。3年前に普及センターの建築士定期講習を受講された方には、年度初めに普及センターから案内が届いていますのでご確認ください。

会場 コード	日 程	会 場	講 義	定 員
3B-04	10月3日(木)	高岡文化ホール	DVD	80
3B-05	11月28日(木)	富山県民会館 611	DVD	60
未定	令和6年12月～ 令和7年3月	富山市(予定)	未定	未定

時間:9:20～17:30

受講料:12,980円(消費税・テキスト含む)

申込先:建築士会事務局 平日 9:00～17:00

問合せ先:建築士会事務局 担当:佐藤

※詳細は本会ホームページをご覧ください。

建築関係技術者のための「監理技術者講習」(DVD講習)の日程について

回	開催日
④	令和6年 9月26日(木)
⑤	令和6年 11月19日(火)
⑥	令和7年 3月18日(火)

会場:富山県建築設計会館3階

時間:受付9:00開始 講習+試験 9:30～17:25

※詳細は日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

「令和6年度既存住宅状況調査技術者講習」の日程について

令和3(2021)年度に受講された方は今年度が更新年度となります。他団体で資格取得された方も、建築士会の講習で更新が可能です。DVD講習、オンライン講習からお選びいただけます。

【DVD講習】

区分	日 時	会 場	定員	CPD
更新	8月29日(木)	3階会議室	16	2単位
新規	8月30日(金)	3階会議室	16	5単位

時間:更新講習 13:30～16:50 新規講習 9:30～16:50

受講料:更新講習 WEB申込17,000円 郵送申込17,600円

新規講習 WEB申込21,450円 郵送申込22,000円

【オンライン講習】

区分	回	学習期間(オンライン)	申込締切
更 新	8月後期	8月16日(金) 00:00～ 8月31日(土) 23:59	8/2(金)
	9月前期	9月1日(日) 00:00～ 9月15日(日) 23:59	8/17(土)
	9月後期	9月16日(月) 00:00～ 9月30日(月) 23:59	9/2(月)
	10月前期	10月1日(火) 00:00～ 10月15日(火) 23:59	9/17(火)
新 規	10月	10月1日(火) 00:00～ 10月15日(火) 23:59	9/17(火)

受講料:更新17,000円 新規21,450円

申込先:日本建築士会連合会

※詳細は日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

◆ 富山県

令和6年度 被災建築物の「応急危険度判定講習会」の開催について

大地震の後の余震等による人命にかかわる二次災害を防止するため、被災した建築物を調査し、倒壊や外壁・窓ガラス等の落下等による危険性を判断する「応急危険度判定」に関する講習会を次のとおり開催することとしています。まだ応急危険度判定士になっていない建築士の方は、受講していただくようお願いいたします。

また、令和元年度に認定を受けられた方は、今年度が更新の年ですので、なるべく受講いただきますようお願いいたします。

(更新対象者の方へは別途案内を送付致します。)

なお、申込等詳細は、同封の案内チラシをご覧ください。

日時:令和6年9月19日(木) 13:30～17:00

場所:富山県民会館 304号室(富山市新総曲輪4-18)

◆ 富山県建築文化賞協議会

第55回富山県建築文化賞建築賞募集(令和6年度)

今年度の建築賞募集を開始しました。

令和2年4月1日から令和5年3月31日までに富山県内で竣工した建築物が対象で、「一般部門」と「住宅部門」があり、富山県建築士会事務局で応募を受付けます。

申込等詳細は、先月号同封の募集要綱又はHPをご覧ください。

事務局の夏季休暇

8月13～16日です。よろしく願い致します。

婦負支部「スキルアップ講習」報告

開催日：令和 6 年 5 月 18 日（土）14：00～15：40

開催場所：富山市婦中ふれあい館 視聴覚室

講師：ヤマイチ株式会社 渋谷 幸司 氏

参加人数：13 人（会員）

「2025 年建築基準法改正への対応と補助金活用術・地震対策としての制震ダンパーの役割」という内容でスキルアップ講習会を開催しました。

講習会の前半は、四号特例の見直しや新しい壁量等の基準に対応した設計支援ツール等の紹介、改正住宅省エネ基準についての説明を受けました。

さらに令和 6 年度の住宅向け補助金制度（子育てエコホーム支援事業・ZEH 補助など）の活用術についての紹介がありました。

講習会の後半は、地震対策として制震ダンパーの役割についての説明を受けました。

地震対策に必要な耐震・免振・制震の基礎知識や制震装置の種類や特徴について模型を使いながら学びました。

1 月の能登半島地震での大きな被害を目の当たりにして今後起こるとされる首都直下型地震など巨大地震を想定した場合、耐震性能（固さ）に制震性能（吸収力）を付加していく必要性を感じました。

それぞれ直接実務に関わる内容でもあり、参加者個々の知識も深まりとても有意義な講習でした。



説明を受けている様子